

# 国土交通省北陸地方整備局長 優良業務表彰・優秀技術者表彰 磐梯山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討業務

立体地形図を活用した火山砂防ハザードマップ集の作成

防災地質部	佐々木 寿	あらい けんいち
東北コンサルタント部	新井 瑞穂	たかはし ひであき
航空事業部	こば けいた	

## はじめに

本業務は、磐梯山火山噴火緊急減災対策砂防計画と磐梯山火山砂防ハザードマップ集を作成するため、磐梯山と隣接する吾妻山・安達太良山の計画との連携、融雪型火山泥流の被害想定範囲の検証、自治体の磐梯山噴火時における支援計画等を検討したものです。ここでは、検

討結果をもとに火山専門家や防災関係機関から構成される「福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」において審議され公表された「磐梯山火山噴火緊急減災対策砂防計画」の内容を一部紹介します。

## 磐梯山火山噴火緊急減災対策砂防計画の概要

計画は、目的や前提条件等を記載した【基礎事項編】と緊急時に実施する減災対策について記載した【計画編】に分けてとりまとめています。

基礎事項編では、磐梯山の過去約1万年間の火山活動実績や類似火山の噴火事例を整理し、今後に想定される噴火シナリオを作成しました。噴火シナリオではこれまで対象としていなかった「マグマ噴火」を想定したほか、御嶽山2014年噴火でも発生した「火口噴出型泥流」を想定し、影響範囲を検討しました。また、赤色立体地図を用いた想定火口範囲の見直しを行いました。

計画編では、磐梯山の噴火時に想定される土砂災害に対する緊急ハード対策を検討しました。緊急ソフト対策として、火山監視観測機器の緊急的な整備、火山噴火時の緊急調査等について検討しました。また、隣接する吾妻山・安達太良山の対策計画との重複や整合も考慮した

平常時の準備事項についても検討しました。

また、別冊資料として火山砂防ハザードマップ集を作成しました。火山砂防ハザードマップは火山噴火緊急減災対策砂防計画作成のために影響範囲を把握する目的で作成します。マップの背景には赤色立体地図を利用し、溶岩や崩壊地などの地形がわかりやすいよう工夫しています。

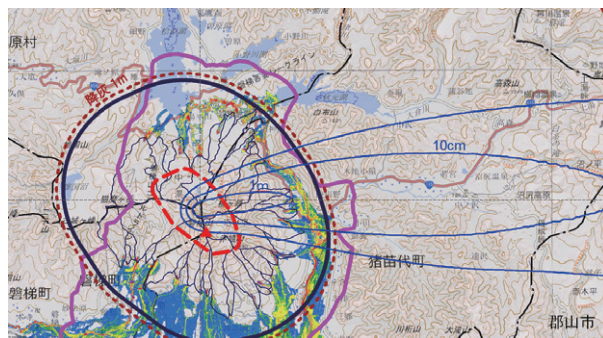


図1 磐梯山の火山砂防ハザードマップの例  
(阿賀川河川事務所ホームページで公開中)

## おわりに

本業務中に活動火山対策特別措置法が改正され、火山防災協議会の設置が義務付けられました。今後、本業務で作成された噴火シナリオや火山砂防ハザードマップを基に磐梯山火山防災協議会によって避難計画の立案などの対策が検討されます。

検討委員会において、日頃からの啓発活動や防災教育の重要性が指摘されたことを受けて、地元市町村では磐梯山火山砂防ハザードマップをもとにした住民向けの防

災マップの改訂作業がすでに始まっています。

最後に、本業務の遂行にあたり、福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会の関係者の皆様、国土交通省北陸地方整備局河川部、国土交通省北陸地方整備局阿賀川河川事務所、福島県砂防課の関係者の皆様には多大なご指導、ご協力をいただきました。ここに改めて御礼申し上げます。